

ディプロマポリシー・企業の求める人材像に関するアンケート調査報告

2025 年 9 月
敬和学園大学

I. アンケート調査概要

本学のディプロマポリシー（学位授与方針）がどの程度卒業生の身についているかを測定するため、本学が学位授与方針を設定した年度以降の卒業生ならびに新潟県内および新潟市近郊の企業や官公庁を対象にディプロマポリシーの定着に関するアンケート調査を行った。また企業の求める人材像に関するアンケート調査を実施した。

	卒業生対象アンケート調査	企業対象アンケート調査
調査趣旨	卒業生の勤務状況を知り、本学の学位授与方針がどの程度卒業生の身についているかを測定する。卒業生の総合的な満足度を調査する。	① 本学卒業生を採用いただいている就職先では、学位授与方針で設定した知識や技能、姿勢が卒業生にどの程度身についていると評価しているかを知る。本学卒業生採用に関して総合的な満足度を知る。 ② 本学卒業生を採用していない企業も含め、企業や官公庁が大学卒業者に求める能力や資質を知る。
対象者	2016 年度、2017 年度本学卒業者	敬和学園大学主催企業との就職懇談会参加企業、オレンジ会参加企業
実施期間	2025 年 3 月・8 月	2024 年 12 月
実施方法	ウェブによる回答	書面での記入
調査項目	プロフィール（卒業した学科、卒業年度、現在の職業等） 学位授与方針（ディプロマポリシー）に関すること 本学での学びに関する満足度	プロフィール（業種と規模、本学卒業生採用状況、採用した学生をどの程度知っているか） 企業の求める人材像（資質・能力・知識）に関すること 留学生の採用に関すること、インターンシップについて 学位授与方針（ディプロマポリシー）に関すること 本学卒業生の採用に関する満足度
有効回答数	25 件（回収率 12.31%）	58 件

*回答は「当てはまる (4)」「おおむね当てはまる (3)」「あまり当てはまらない (2)」「当てはまらない (1)」「職種に該当しない (0)」の 5 択
「職種に該当しない (0)」は「割合 (%)」計算時には分母から除いた。

2. アンケート調査結果

ディプロマポリシー	項 目	卒業生		就職先企業	
		順位	割合(%)	順位	割合(%)
回答数		25		58	
基礎知識	1 仕事（家事）に対する熱意・意欲がある	7	88.0%	5	96.6%
	2 誠実である	2	100%	1	100%
	3 責任感がある	3	96.0%	5	96.6%
	4 人の尊厳を尊重する姿勢がある	1	100%	5	96.6%
	5 一般知識・教養がある	14	84.0%	10	91.4%
	小計（平均）		93.6%		96.2%
専門知識・論理的思考・批判的思考	6 グローバルな視点をもっている	18	75.0%	19	55.2%
	7 専門分野の基礎知識がある	17	78.3%	18	67.2%
	8 論理的思考力がある	10	88.0%	12	84.5%
	9 多面的に考える力がある	8	88.0%	16	79.3%
	10 課題発見力がある	16	76.0%	13	82.8%
	11 問題解決力がある	15	80.0%	13	82.8%
小計（平均）		81.0%		75.3%	
コミュニケーション能力	12 コミュニケーション能力がある	11	84.0%	5	96.6%
	13 外国語のコミュニケーション能力がある	20	36.4%	20	37.9%
	14 情報リテラシーがある	13	84.0%	17	70.7%
	15 表現力・プレゼンテーション能力がある	19	66.7%	15	79.3%
	小計（平均）		68.8%		71.1%
社会との関係	16 主体性・積極性がある	9	88.0%	11	87.9%
	17 協調性がある	6	92.0%	1	100%
	18 マナーが身についている	12	84.0%	3	98.3%
	19 規律性・倫理観がある	4	96.0%	3	98.3%
	20 会社や地域社会に貢献しようとする意欲がある	4	96.0%	9	94.8%
	小計（平均）		91.2%		95.9%
平均			84.4%		84.8%
	21 総合的に判断して、敬和学園大学での学びに満足している 総合的に判断して、本学卒業生の採用に満足している		96.0%		100%

「順位」は原則として「割合(%)」の高い順。同率の場合「当てはまる(4)」が多い順。「割合(%)」は、回答数に占める「当てはまる(4)」「おおむね当てはまる(3)」の割合

3. アンケート調査結果の分析と改善方法

●卒業生が回答した「自身の状況」のうち、以下の項目の評価が高い。

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 1. 基礎知識 4 | 人の尊厳を尊重する姿勢がある (100%) |
| 2. 基礎知識 2 | 誠実である (100%) |
| 3. 基礎知識 3 | 責任感がある (96.0%) |
| 4. 社会との関係 19 | 規律性・倫理観がある (96.0%) |
| 4. 社会との関係 20 | 会社や地域社会に貢献しようとする意欲がある (96.0%) |

●卒業生の就職先が回答した「卒業生の印象」のうち、以下の項目の評価が高い。

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 基礎知識 2 | 誠実である (100%) |
| 1. 社会との関係 17 | 協調性がある (100%) |
| 3. 社会との関係 18 | マナーが身につけている (98.3%) |
| 3. 社会との関係 19 | 規律性・倫理観がある (98.3%) |
| 5. 基礎知識 1 | 仕事(家事)に対する熱意・意欲がある (96.6%) |
| 5. 基礎知識 3 | 責任感がある (96.6%) |
| 5. 基礎知識 4 | 人の尊厳を尊重する姿勢がある (96.6%) |
| 5. コミュニケーション能力 12 | コミュニケーション能力がある (96.6%) |

●卒業生が回答した「自身の状況」のうち、以下の項目の評価が低い。

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. コミュニケーション能力 12 | 外国語のコミュニケーション能力がある (36.4%) |
| 2. コミュニケーション能力 12 | 表現力・プレゼンテーション能力がある (66.7%) |
| 3. 専門知識・論理的思考・批判的思考 6 | グローバルな視点をもっている (75.0%) |
| 4. 専門知識・論理的思考・批判的思考 10 | 課題発見力がある (76.0%) |
| 5. 専門知識・論理的思考・批判的思考 7 | 専門分野の基礎知識がある (78.3%) |

●卒業生の就職先が回答した「卒業生の印象」のうち、以下の項目の評価が低い。

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. コミュニケーション能力 12 | 外国語のコミュニケーション能力がある (9.1%) |
| 2. 専門知識・論理的思考・批判的思考 6 | グローバルな視点をもっている (55.2%) |
| 3. 専門知識・論理的思考・批判的思考 7 | 専門分野の基礎知識がある (67.2%) |
| 4. コミュニケーション能力 14 | 情報リテラシーがある (70.7%) |
| 5. コミュニケーション能力 14 | 表現力・プレゼンテーション能力がある (79.3%) |

○「企業が求める人物像」上位5項目は以下のとおり

資質	「チームワーク・リーダーシップ・協調性」(69.7%)	「学び続ける力」(47.4%)
能力	「コミュニケーション力」(90.8%)	「課題設定・解決能力」(56.6%)
知識	「理系・文系の枠を超えた知識・教養」(60.5%)	

本学卒業生を採用いただいている就職先からの評価はおおむね高く、ディプロマポリシーの各分野の回答傾向は、就職先と卒業生の間で大きな差異はなかった。卒業生が自分自身を客観的に見ることができていると評価できる。卒業生、就職先ともに評価が高かった項目は「誠実である」「人の尊厳を尊重する姿勢がある」があるが、これらは本学の人間教育の要であり、この2点が卒業生、就職先企業ともに100%あるいはそれに近い高評価であったことは評価できる。

他方で、評価が低かったのは、卒業生、就職先ともにコミュニケーション能力の分野と専門知識・論理的思考・批判的思考の分野であった。「外国語のコミュニケーション能力」「グローバルな視点をもっている」が低い傾向にあるが、グローバル化が進む中で重要なのは、まず異なる文化的背景をもつ人々に心を開き、コミュニケーションを取ろうとする態度である。グローバルな視点を養うことは本学の方針の一つでもあり、留学や海外研修、本学に在籍する留学生や外国籍の学生との交流によって、外国語のコミュニケーション能力、グローバルな視点養成につながる取り組みを行っている。今後さまざまなツールを用いてコミュニケーションを取ることも考慮に入れて質問設定を検討する必要もあるだろう。

企業が求める人物像調査では、「コミュニケーション能力」が最も求められており、コミュニケーション能力をさらに高める必要がある。学生の発表やディスカッション等のアクティブラーニングをこれまで以上に増やすことと、地域に出て行う実践的なサービスラーニングの参加と推進しており、2024年度入学者を対象に、地域活動または留学・海外研修を選択必修化した。このようなカリキュラム改善により、学生の様々な能力が開発されると期待している。また、これらの結果を踏まえて2026年度からの新学科のカリキュラムを整備した。

総合的に判断して、本学卒業生の96.0%が大学での学びに満足しており、本学の卒業生を採用している就職先の100%が採用に満足していると回答いただいている。地域社会の持続的な担い手の育成は本学のビジョンでもあり、今後も有為な人材を社会に送り出していくため教育内容を充実していく所存である。